

B 場所 西白河郡西郷村熊倉小学校追原分校，真船分校

C 研究題目

- ◎小規模学校における生活指導について
- ◎小規模学校および分校の経営について
- ◎小規模学校における複式（算数・理科・図工）の学習指導はどのようにすればよいか。

D 研究内容

a, 算数

複式学級における算数科指導の一方法について、大波小学校上染屋分校，安斎千氏教諭はじめ，多くの方が同題材指導法をどのようにして，教師自身がまず理解し，それに基づいて研究と指導をするということについての報告をしている。

なかには，はじめて分校に赴任して複式学級の指導に当たった教師の悩み，「複式指導にはいろいろの問題があるが，4月早々手に渡された教科書24冊，指導書17冊，計41冊，（3,280頁）であり，これを読破するには1日9頁の読破が必要で，雑務の多い分校教師には並々ならぬ苦労がある」と訴えている。

b, 理科

分校における理科指導（特に自然環境の利用）として，安積郡熱海小学校石釜分校，西野重利教諭が，分校をとりまく，生物のくらし方をこくめいに調査して，学年の指導系列を季節ごとに分類して指導の系統を立てている。

特にここで作られた理科学習自然環境の「理科学習自然環境一覧」は立派なものである。

また，追原分校のPTAが那須山系を中心とした植物の標本を作成して，理科学習における種々の教材を集めたのも立派なものであった。

c, 図工

表現内容と生活実態について，田村郡二瀬中学校，横田敬幸教諭が，農山村の中学生の表現能力がきわめて貧弱であったものを，二学期の努力によって表現力が見違えるようになったと，指導の結果を説明していた。これなどは立派なものである。

d, 分校経営

分校の経営について，西白河郡西郷村，熊倉小学校追原分校，近藤源一教諭が，分校着任以来すべての情熱を傾けて分校経営に当たった実践をのべられたが，尊いものであった。分校経営については，どこにも同じような苦労がみられるようであるが，追原分校でも子どもを通しての父兄教育，分校の独立予算など，種々の目標をうち立てるまで，一家をあげて分校の経営に当てられたことについての発表はきわめて貴重な体験である。

また，田村船引町中山小学校長，加藤文富氏の校長としての小規模学校の経営の実践発表もすぐれたもので，農山村における引込み思案の児童を殊算の指導を通して自信をつけたことなどはすぐれた指導事例である。

(2) 浜通り方面

A 期日 昭和34年11月13（金），14（土）日の2日間

B 場所 双葉郡川内村川内第1小学校毛戸分校

C 研究題目

- ◎3学年複式学級における教育課程はどのようにすればよいか。
- ◎3学年複式学級における学習指導はどのようにすればよいか。（算数・社会）
- ◎分校経営はどのようにすればよいか。

D 研究内容

a, 算数

算数複式カリキュラムについて

双葉郡川内第一小学校，毛戸分校 青木幸夫

複式学級算数教育課程と学習指導について

石城郡田人小学校，入旅人分校 但野 満

ここでは3学年複式学級における指導計画を作成している。2学年複式学級の指導は同題材による指導で，その計画も作られ，それに基づいて実践しておられるが，3学年複式学級の指導計画は余りみられない。しかしここではその計画の作成と，それに基づいた実践が行われた。特に3学年複式学級の同題材指導は貴重な研究で，今後はこの方法によって全県が実践に取りかけられるようにされたい。

b, 社会

複式学級における社会科カリキュラムについて

双葉郡川内第一小学校，荻分校 大川原洋右

3学年複式学級における指導法として，同題材による指導方法を考え，それによった計画例を作り，それに従って実践した。その結果能力の差はあっても，A年度，B年度，C年度と区別して案を作って行ったのでおちついて学習ができ，3学年の児童がいたわりながら学習をすすめていくことができて，大へん効果があがったとのことである。

(3) 会津方面

A 期日 昭和34年10月13日（火），14日（水）の2日間

B 場所 耶麻郡楡原小学校，耶麻熱海小学校

C 研究題目

- ◎複式における国語指導はどのようにすればよいか。
- ◎複式における社会指導はどのようにすればよいか。
- ◎複式における理科指導はどのようにすればよいか。
- ◎複式による算数指導はどのようにすればよいか。
- ◎分校の経営はどのようにすればよいか。

D 研究内容

a, 国語

複式学級における国語学習の計画構成について

耶麻郡北塩原村楡原小学校

ここは昭和34年度文部省の実験学校として指定され，同題材指導について学校をあげて研究した。ここに研究された内容は，

- ◎題材設定の形式はどのようにしたか。